

みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内



『ラストは初めから決まっていた』 (小手鞠 るい)

岡大の教室から巣立って、聖徳太子ゆかりの地、奈良・王寺町へ飛んでいったこと。「恋人の聖地」で、こつりを待ち受けていたのは…。純度100%の恋愛小説。(ポプラ社)

- ・『銀獣の集い』(廣嶋 玲子)
- ・『羊は安らかに草を食み』(宇佐美 まこと)
- ・『メイド・イン京都』(藤岡 陽子)
- ・『応仁悪童伝』(木下 昌輝)
- ・『おたがいさま れんげ狂物語5』(群 ようこ)
- ・『植物生まれのやさしいお菓子』(白崎 裕子)
- ④『足利の血脈 書き下ろし歴史アンソロジー』(秋山 香乃[ほか] / 著)
- ④『今日、これ買ってきた』(笠原 将弘)

News 図書館からのお知らせ

絵本の読み聞かせ【2/17(水) 10:00～】
「おはなしらんどポップコーン」さんによるおはなし会！どなたでも参加できます。(申込不要)

児童向 新刊案内



『くもとりのイノシシびょういん』 (かこ さとし / 文・絵, なかじま かめい / 絵)

たぬきの母さんと子どものポンちゃん、は、イノシシ先生の病院にやってきました。イノシシ先生は、おなかを痛いというポンちゃんのおなかをゆっくりさすって…。(福音館書店)

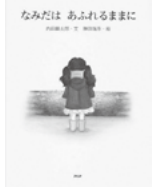
- ・『たぬきのおまじない』(おおなり 修司 / 文, 丸山 誠司 / 絵)
- ・『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』(キース・ネグレー / 作)
- ・『絶景のふしぎ100』(佐野 充 / 監修)
- ・『空を飛ぶミジンコのなぞ』(星 輝行 / 写真・文)
- ④『ねこのようしょくやさん』(KORIRI / さく・え)



今月のおすすめ本

★もう一度東日本大震災を知る

『なみだはあふれるままだ』 (内田 麟太郎 / 文, 神田 瑞季 / 絵)



明日への希望を1人の少女の心象風景と詩に託した絵本。震災復興給はがきで話題になった神田氏が絵を手がけています。(PHP研究所)

- ・『南三陸日記』(三浦 英之)
 - ・『津波被災前・後の記録』(東北建設協会 / 編)
- 3月1日号では防災に関する資料を紹介します。

おはなしのフジ

文・絵 樋渡 浩さん

じよんぶ

久しぶりに訪ねてきた親戚のだだちゃ(お父さん)が縁側で留守番の婆ちゃんと話している。

「婆ちゃ、ジョンブでえがんすの(いいですね)」

「おかげさまでの(ね)。ままだはなめし(食事は美味しい)まなぐも(目も)フジョだごど

ね(なことはありません)だだちゃが言うジョンブは夫の訛りだから本来は長音——伸ばす音——である第一音が撥音——跳ねる音——に変わっている。

また、婆ちゃが言うフジョは不自由の訛りだが、本来は長音

である音が伸ばされていない。

この傾向は屢々見られるからおらほのことばの一つの特徴と言えそうである。

長音が撥音に変わっている例としては新年を祝うジョンガツ(正月)、料理を詰めるジョンバゴ(重箱)、封筒を言うジョンブグロ(状袋)、一銭の意味のジョンモン(10文)、瓶に液体を詰めるときに用いるジョンゴ(漏斗)などが思い浮かぶ。

タロ(太郎)やジロ(次郎)、オシヨ(和尚)やコボ(小坊)、

エッシヨ(一升)やニッシヨ(2升)などは、フジョ(不自由)と同様、長音が伸ばされないで発音された例である。

